

1 何から感染するのですか。

ウイルスで汚染された食物を食べた場合や、感染者のおう吐物に触れた手指を介して口から入ります。食中毒の原因ウイルスであり、年間の食中毒の半数近くが、ノロウイルスによるとされています。とくに11月から2月に多く発生します。

感染力は非常に強く、少数のウイルスでも感染します。二枚貝がしばしば原因となります。二枚貝は、海中で海水を吸い、吐き出しています。この過程でウイルスが貝の体内に蓄積され、濃縮されるからです。

感染者のおう吐物、下痢便は多くのウイルスを含みます。

検査のはなし vol.13

専門医が解説する 病気の検査…19

「ノロウイルス」

日本臨床検査専門医会
福地 邦彦



2 どのような症状ですか。 どのような検査がありますか。

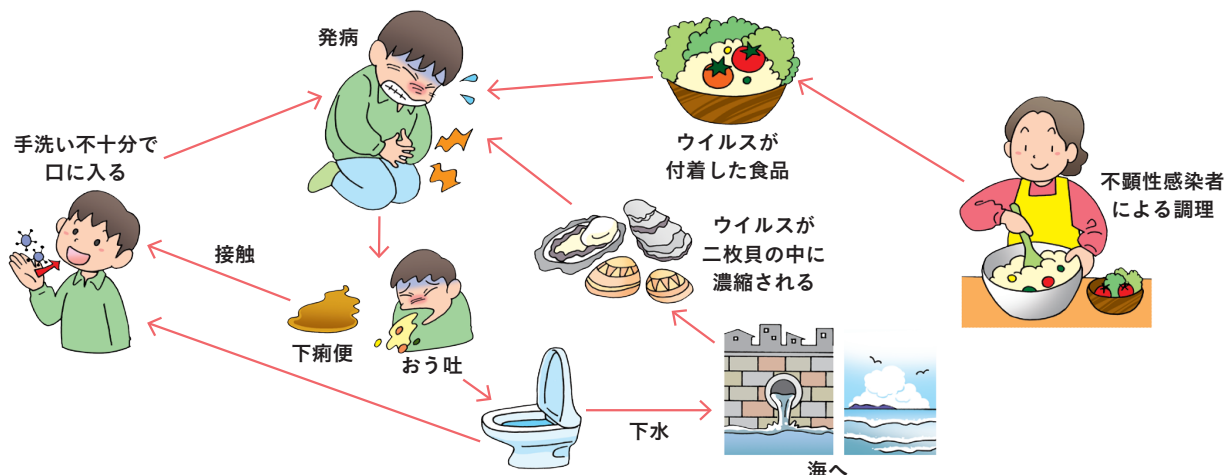
感染後24～48時間で、吐き気、おう吐、下痢、腹痛で発症します。多くの場合、発熱は軽度です。通常、これらの症状が1～2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。しかし、子どもや高齢者は、脱水症状などで重症化することがあるので注意が必要です。多くは臨床症状から診断されます。ただし、糞便やおう吐物中のウイルスの抗原検査は、3歳以下の幼児と65歳以上の高齢者、その他重症化の恐れがあるヒトには、健康保険で行われます。

PCRによる検出も可能ですが、健康保険の対象とはなっておらず、行政機関や研究機関で流行状況の解析目的などで実施されます。

3 薬やワクチンがありますか。 予防法がありますか。

ノロウイルスに対する抗ウイルス薬や、予防のためのワクチンはありません。必要に応じて脱水への対応がなされます。食品中のノロウイルスの感染性を失わせるには、85～90℃の90秒ほどの加熱が必要です。調理器具や人の手が触れる環境の消毒には、200 ppmの次亜塩素酸ナトリウムの使用が必要です。

ノロウイルスには消毒用アルコールや逆性石鹼が有効でないことがあります。家庭用の塩素系漂白剤（塩素濃度約5%）を水で250倍に希釈すると200 ppmとなります。日常的には、手を石鹼でよく洗うことです。石鹼自体には抗ウイルス作用はありませんが、ウイルスがはがれやすくなります。



●日本臨床検査専門医会：種々の検査を通して診断や治療に役立つ検査結果と関連する情報を臨床医に提供する臨床検査医の職能団体です。